



## 地域の安心と活用が期待される

とこがため

# 「大河原床固工群」

赤石岳を懐に控え、清らかな水が絶え間なく流れる小渋川。地域の安全を確保すると同時にアルプスの山並み景観を大切にし、人と川が触れ合える場も提供できるように整備を進めています。

## ぜひ一度、見に来てください。

床固工は、河底・河岸の異常な侵食や土砂の堆積による氾濫を防止します。工事では現地の自然石を取り入れたり、斜面に芝を張ったりします。完成時には大部分が川の中に隠れてしまいます。大西橋（大鹿村交流センター前の大西山公園に続く橋）や「ろくべんかん」から安全に工事現場を一望することができます。ぜひ散歩がてらご見学ください。小渋川上流の南アルプスから吹き下ろす寒風も体感できますよ。



(H14.8.16 ~ H15.3.26) 大協建設株



(H14.10.5 ~ H15.3.24) 榎伊原工務店

## 温故知新

しまがわら

### 「島川原一百年記念碑」

大河原下市場に樹齢 100 年以上とも言われる桜の老木と共に静かにたたずむひとつの記念碑があります。何の記念碑かご存知でしょうか？実は小渋川で新田開発のために本格的に河川工事を始めた人々の功績を称えた碑です。189 年前の 1814 年に、民間有志による出資で、当時「島川」と呼ばれていた小渋川に川除け（堤防）工事を行い、百五十間（約 270 m）の木製の堤防を完成させました。この碑はこの木堤の跡地に建立されているそうです。

当時の工事に携わった方々の決意と熱意は計り知れないものであったと想像できます。この碑の前に立つと改めて先人の偉業に思いをふくらませました。



大河原 赤嶺館前の記念碑